

この子らと

令和3年12月

まことの保育

乙女の真心(花言葉)

園庭で咲く

皇帝タリア(メキシコ)

鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男

“生活の場所が家庭と「園」が中心”

20年間で最も変化したのは幼児の成育環境でした。調査;平成7年～平成27年(ベネッセ教育総合研究所 調査対象;保護者4000人)

Q 園以外で誰と遊びますか。

A1 友だち 56.1%(平成7年)⇒27.3%(平成27年)

A2 母親 55.1%(平成7年)⇒86.0%(平成27年)

A3 父親 9.4%(平成7年)⇒17.8%(平成27年)

A4 祖母 9.1%(平成7年)⇒16.8%(平成27年)

A5 祖父 3.7%(平成7年)⇒8.3%(平成27年)

“子どもたちが友だちと遊ぶ機会が減り、家族や親族と遊ぶ機会が増えています”



子どもたちはいろいろな人とかかわることによって豊かな成長をしていきます。本園でも、園内外での「人とのかかわりからの子どもの育ち」を大事にしています。



【佐賀県九州龍谷短期大学,将来の先生との交流】

別院からのプレゼント「除夜の鐘」



大晦日恒例の除夜の鐘,子どもたちは一足早く煩惱の回数だけ?一回鐘つきを経験しました。煩惱の数108=

四苦(4×9)+八苦(8×9)=36+72

さて,純真無垢な子どもたちも同じ回数?

“杵と臼の餅つき体験”



お正月のお餅は,人々に「生きる力」を与える意味をもっています。しかし,平安時代から続いてきた餅つき風景は,珍しくなりました。

熱演に感動した発表会



「園長先生,子どもは成長するのですね。先生方に感謝です。」と何人かに声をかけていただきました。子どもたちは,一人一人が必ず花を咲かせる可能性という種子を無限にもっています。本園職員は,無限の可能性を心から信じて,「この子らを一人ももらすまじ」の気概をもって取り組んでくれていると思います。

緊張のために動けなくなってしまう等の子どももいましたが,その子どもは,成長のための貴重な経験・学びをしており,成長の一過程としてとらえております。日々,成長です。

ゆく年くる年



父母の会,おやじの会のみなさまには,ご多用中にもかかわらず園行事ごとに多大なるご尽力を賜り,心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

“新しい気持ちで,新しい年を迎えたい”

不思議だなと思います。12月31日の日の出と1月1日の日の出とわずか1日の違いではありますが,太陽の輝きが違って見えます。正月に見る日の出は,その神秘的たたずまいに思わず手を合わせたくなります。

大晦日には,除夜の鐘の音を聞きながら,行く年に感謝し,来る年が皆様方にとりまして良い年となりますことを心から念じ申し上げます。

「天秤や 京江戸かけて 千代の春」松尾芭蕉
「突く羽を 犬がくわえて 参りけり」小林一茶

--	--

--	--